



ブロック塀から考える
防災まちづくり

もくじ

ブロッククイズ	1
3 地区での取り組み	3
津田・新浜地区	5
和田島地区	11
日和佐地区	17
ブロック塀改修例	23
もっと「防災活動」のススメ!	24
～付録～ブロック塀を点検してみよう!	25



建築士さん

家や塀の専門家
防災活動もしている

おとうさん

地震や災害から家族を
守ることを勉強中



おかあさん

日頃よく近所の人と
防災の話をしている



さきちゃん

ブロック塀の多い道を
毎日小学校に通っている

おばあさん

地区防災会の世話や
活動をしている



まずはじめに、
クイズに答えてみてください。

Q1

ブロック1個の重さは？

- ① 3kg
- ② 5kg
- ③ 10kg

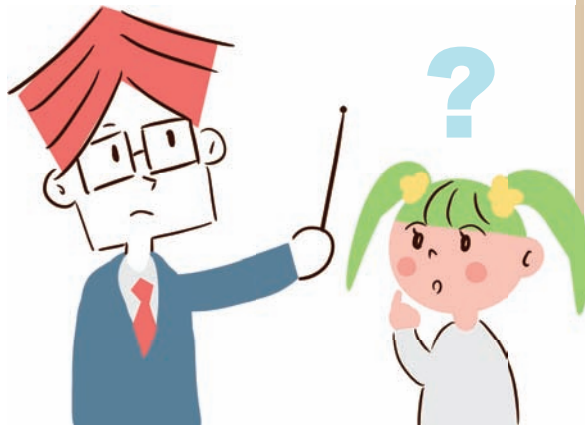


Q2

これを高さ 1.2mから落とせば空き缶は？

- ① 無傷
- ② 少しへこむ
- ③ ペチャンコになる

街中でよく見かける
ブロック塀のことを
どのくらい知って
いますか？



ブロック塀は地震でどう壊れる？

Q3

- ① 上のブロックから落ちてくる
- ② その場でグシャッと崩れる
- ③ 板状のまま倒れる

写真のブロック塀のどこが危ない？

Q4

写真のブロック塀のどこが危ない？
危ないと思うところを5つ以上あげて
ください





クイズの正解はこれ！

A1



これを高さ 1.2mから
落とせば空き缶は？

3 ペチャンコになる

予想以上に大きな衝撃

A3



ブロック1個の重さは？

3 10kg

1Lペットボトルの水10本分の重さ

A2



ブロック塀は
地震でどう壊れる？

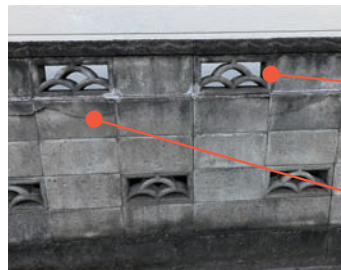
3 板状のまま倒れる

熊本地震で倒れた現場

写真のブロック塀のどこが危ない？

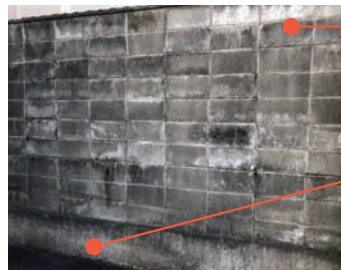
A4

ここが危険！



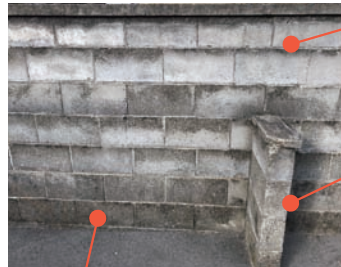
透かしブロックを使っている
(塀の強度が弱くなる)

クラックが多い



塀が高すぎる
(地盤から 2.2m以下)

控え壁がない
(高さ 1.2mを超えると必要)



たがいちがいに積んでいる
(鉄筋が入らないので弱い)

控え壁が低い
(高さの 1/5 以上の高さ)

基礎がない

正解しました？
ブロック塀が壊れると
とても危険だね！



地震や津波が きた時に どうなる？

ブロック塀が倒れかかって危ない！

避難ができなくなる！



他にも いろいろな 課題がある！

避難場所が少ない 空き家が多い 通学路が危ない

防災意識が低い 避難路が分かりにくい 高齢者が多い

近所付き合いがない 訓練の参加者が少ない

では どうすれば いい？

ブロック塀をなくそう！

避難マップを作ろう！

意識改革するには？

防災イベントを増やそう！

防災グッズを配ろう！

空き家を活用する？

近所で助け合おう！

補助金を増やして！

安全な塀ってどんなもの？

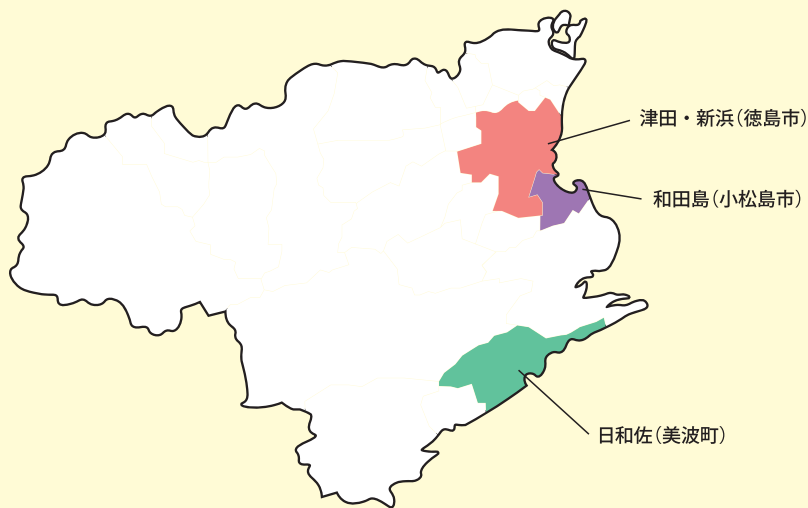
みんなどうしてる？

どうする？

地区の皆さんが一丸となって
課題解決に取り組むことになったよ！



3地区での取り組みが 始まりました！



「モデル事業」に応募！

「津田・新浜」(徳島市)「和田島」(小松島市)「日和佐」(美波町)の3つの地区が「地域の安全確保モデル事業」(国土交通省)に取り組みました。

概要 テーマ：地域が一体となった防災まちづくり

ステップ1 ▶ 「モデル地区の選定」と「協議会の設置」

ステップ2 ▶ 「現地調査」と「安全確保モデル計画」案の作成

ステップ3 ▶ 地域から県下全域へ、そして全国へ

構成
メンバー

「協議会」を設立！

それぞれの地区で「協議会」がつけられ、防災まちづくりへの取り組みが始まりました。

目的

地元住民、まちづくり団体、専門家、地方公共団体などによる協議会を設置して、安全で安心な防災まちづくりのために、ブロック塀の点検や安全な避難路対策を行う。

津田新浜避難経路点検協議会 (津田・新浜地区)

津田コミュニティ協議会
津田新浜地区自主防災会連絡協議会
津田中学校防災学習倶楽部
徳島大学理工学部社会基盤デザインコース 上月研究室
公益社団法人徳島県建築士会
徳島市危機管理局危機管理課・防災対策課
徳島県県土整備部住宅課建築指導室

和田島防災まちづくり協議会 (和田島地区)

小松島春日自主防災会 小松島ニュータウン自主防災会
和田島みさき自主防災会
東自治会、宮前常会、中央自治会
勢以元自治会、みさき自治会、日ノ出自治会
住宅自治会、小松島ニュータウン自治会
一般社団法人CS阿波地域再生まちづくり
徳島大学理工学部社会基盤デザインコース 上月研究室
公益社団法人徳島県建築士会
小松島市危機管理課・住宅課
徳島県県土整備部住宅課建築指導室

日和佐防災まちづくり協議会 (日和佐地区)

日和佐まちなか防災会
(東町、戎町、中村町、本町、奥河町、西町自主防災会)
神戸学院大学現代社会学部社会防災学科 中田研究室
徳島大学理工学部社会基盤デザインコース 上月研究室
徳島大学美波町地域づくりセンター
公益社団法人徳島県建築士会
美波町消防防災課
徳島県県土整備部住宅課建築指導室

津田・新浜地区 中学生と一緒に取り組もう！



活動の方針

津田中学校の防災学習倶楽部は、長年防災活動が続けていて、全国的にも高い評価をうけている。今回、地区の住民がこの中学生とともに、通学路のブロック塀調査や学習会を行うことによって、地区の人たちの防災意識をより高めたい。また、建築の専門家である建築士の方々のサポートもほしい。

協議会メンバーの感想・コメント



津田新浜地区自主防災会連絡協議会
山口勝秀さん

今回、改めて津田の防災上の実情を中学生にも分かってもらったのではないかな。それが成果として、今後活かされていくと思う。



津田新浜地区自主防災会連絡協議会
浅樋文子さん

津田の町の危ないところを、中学生と一緒にになって、これからどういうふうに啓発、声かけしていくかを考えたいと思います。



津田中学校防災学習倶楽部
高橋小雪さん

調査をしたことで、古い家や危ない塀が多いことが分かりました。でもブロック塀をフェンスなどに変えてくれる家もあり、良かったです。

取組の内容

ブロック塀調査・アンケート調査

地元住民、中学生が専門家とともに、通学路沿いのブロック塀の点検調査とアンケート調査を行い、結果を所有者の方に伝えました。

バーチャル避難訓練

タブレットを活用したバーチャル課題（避難路にブロック塀が倒壊していたら？けが人がいたら？など）に取り組みながら避難訓練を行いました。

避難訓練での啓発活動

地区の避難訓練の時に、パネル展示や体験によるブロック塀対策の啓発を行いました。

模型づくりワークショップ

中学生が自分たちの考えてきた「津波に強い住宅」や「防災地区計画」を建築士のサポートを受けながら模型にしました。

想定浸水予想の表示

津田中学校体育館に、中学生と協議会が想定浸水予想を表示し、避難意識を高めました。

津田・新浜地区 中学生と一緒に取り組もう！

一地区防災活動 & 津田中学校防災学習倶楽部 【ブロック塀の調査】



ブロック塀調査・アンケート調査

調査の方法

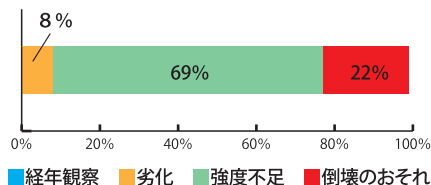
ブロック塀の調査は、まず所有者の方の許可をいただき、チラシで点検の目的や内容を伝えてから実施しました。調査に関しては、建築士の方々の協力を得て、チェックシートを作成。調査結果は、書類でお渡しするとともに、今後の対策についてのお願もしました。

所有者の方も、中学生の活動には快くご協力をいただきました！



点検項目	点検結果	基準点	評価点
●躯体の形状(躯体形状)			
点検項目		基準点	評価点
建築年の年数	10年未満	10	10
	10年以上、20年未満	8	5
	20年以上	5	5
高さの増設あり*	なし	10	10
	あり	0	0
築地状況	築地あり	10	10
	築地なし	0	0
壁の位置**	壁の下に壁なし	10	10
	壁の下に壁あり	5	5
壁の長さ**	1.2m以下	15	15
	1.2mを超え、2.2m以下	10	10
	2.2mを超える	0	0
壁の厚さ	15cm以上	10	10
	12cm	5	5
	10cm	0	0
透かしブロック	なし	10	10
	あり	0	0
真鍮**	あり	10	10
	なし	0	0
鉄入埋	あり	10	10
	なし	0	0
かさね	あり	10	10
	なし	0	0
基本性能値(1~9の平均値の合計)			
			8
●躯体の耐力(耐力)			
点検項目		基準点	評価点
全体の動き	なし	1.0	1.0
	あり	0.7	0.7
ひび割れ	なし	1.0	1.0
	あり	0.7	0.7
傾	なし	1.0	1.0
	あり	0.7	0.7
歪みひずれ	なし	1.0	1.0
	あり	0.7	0.7
●躯体の耐力(耐力)			
点検項目		基準点	耐力点
ぐらつき**	動かない	1.0	1.0
	わずかに動く	0.8	0.8
	大きく動く	0.5	0.5
●躯体の耐力(耐力)			
点検項目		基準点	耐力点
傾斜・転倒防止対策等の有無	あり	1.0	1.0
	なし	0.0	0.0

調査の結果



アンケートの結果

ブロック塀の調査に合わせて、津田中学校防災学習倶楽部のメンバーがアンケート調査を実施しました。結果は以下のとおりです。

- Q 避難場所を知っていますか？
- A 全体の3/4が知っている
(知らないと回答した人は、20代、30代、40代の順に多い)
- Q 在宅中に地震があれば避難しますか？
- A 避難する人が90%
(多くの方が津波に対する意識が高い)
- Q 避難するときの障害物は？
- A ブロック塀が28%、家の倒壊が26%
(続いて電信柱の倒壊、道路の液状化、車バイク)
- Q 避難するとき近所の方に声がけしますか？
- A 声がけする人は4人に3人いる
(「大声で叫ぶ」と答えた人は全体の46%)
- Q 声がけを受けた時はどうしますか？
- A 10人に9人は声がけに従うという回答
(避難に消極的な人も声がけがあると)

津田・新浜地区 中学生と一緒に取り組もう！

一地区防災活動 & 津田中学校防災学習倶楽部 【防災訓練】一



バーチャル避難訓練

この訓練では、班に分かれてタブレットを使ったバーチャルな避難訓練を行い「実際に南海トラフ大地震が発生したらどうするか？」を考えました。また、振り返りの授業では、悩んだり困ったりしたことや、良かったことや気づいたこと、その対応策についても話合いました。

気づいたこと

- ・妹を助けに帰るかどうか迷った
- ・外国人に話すのが難しかった
- ・避難ルートを考えて
- ・判断が遅かった
- ・ケガをしている人を運ぶかどうか
- ・高齢者の方に合わずかどうか
- ・グループの人を待つかどうか
- ・おじちゃんを最後まで助けるか

対応策

- ・いろいろな言語を覚える
- ・少しでも早く冷静になること
- ・早く正しい判断をして行動する
- ・ブロック塀が倒れた時を想像する
- ・自分たちを優先する
- ・思ったことはすぐ仲間に言う
- ・時間を気にしながら避難する
- ・避難訓練をきちんとする

避難訓練での啓発活動

県、建築士会、徳島大学のメンバーが、毎年開催されている津田新浜地区の津波避難訓練に、啓発活動の一環で参加しました。ブロック塀に関するクイズ、1.2mの高さからブロックを落としてみるデモンストレーションなどを行い、たくさんの参加者にその危険性を知ってもらいました。



中学生が地域の皆さんと一緒に訓練して防災のことを学んでるよ！



津波避難訓練

訓練場所 津田山南津波避難場所

- 日時：令和元年12月1日(日) 午前10時集合
- 場所：津田山南津波緊急避難場所(旧末広道路料金所跡)
- ☆ 注意：会場へは、浜之町高架道路下南詰山際坂道から進入してください。末広高架道路の新浜本町出入口からは進入できません。
- 集合時間：津田山南訓練会場に、午前10時に集合
- 参加者：津田新浜地区住民・事業所のみなさん
- 参加者に：災害用トイレ・凝固剤・非常食・飲料保存水など配布
- 訓練概要
 - ◇ 参加者受付訓練(9時30分から受付開始)
 - ◇ 自宅から避難経路確認などの確認・徒歩避難所要時間の確認
 - ◇ 災害用トイレ組立・使い方訓練
 - ◇ 煙体験訓練及び消火器による初期消火訓練
 - ◇ ブロック塀安全対策啓発
 - ◇ 豚汁炊き出し訓練
- 参加される方は、できるだけ訓練に適した服装で参加ください。
- 子どもや要配慮者の方の参加にもご協力ください。
- 参加は徒歩又は自転車をお願いします。(駐車場はありません。)
- 無理せず、交通ルールを守りましょう。
- ※ 宝くじ助成金整備事業により、津田山南に防災倉庫設置と防災資機材を整備しました。この機会に是非ご見学ください。

つなみ！ すぐにげて！
自分の命は自分で守る



○主催 津田新浜地区自主防災会津路協議会・自主防災会女性部防火クラブ
 ○訓練主催関係団体等 津路協議会・津田山南消防団・津田山南消防団少年団・徳島中央児童福祉センター・津田地区児童福祉委員会・津路協議会
 津田中学校防災学習倶楽部・津路協議会津路協議会・医療法人社誠心 寺内病院・徳島県青年福祉連盟・徳島県消防協会
 津田コミュニティ協議会・新浜地区協議会・津路新浜町内会連合会・徳島市津田中学校・徳島市津田小学校

防災アイデア！

危険がいっぱいの通学路をまずチェック

津田・新浜地区 中学生と一緒に取り組もう！

建築士の方々に、
いろいろアドバイスを
もらったよ！

一地区防災活動 & 津田中学校防災学習倶楽部 【模型の製作】一

模型作りワークショップ

津田中学校防災学習倶楽部のメンバーがこれまでに考えてきた「津波に強い住宅案」と「防災地区計画案」を建築士会のサポートを受けて模型にしました。

ワークショップの内容

- 第1回 防災型の住宅を考える
- 第2回 防災型の住宅を作る&防災地区計画を考える
- 第3回 防災地区計画模型(ジオラマ)を作る
- 第4回 完成発表会

防災地区計画ジオラマづくり



計画の構想図



完成模型



ワークショップ

津波に強い住宅模型づくり



模型製作



完成模型

防災アイデア！

古く傷んだ空き家をなくすのも防災まちづくり

津田・新浜地区 中学生と一緒に取り組もう！

一地区防災活動 & 津田中学校防災学習倶楽部【模型の製作】一

防災地区計画ジオラマ

「防災地区計画ジオラマ」には、倶楽部のメンバーと一緒に考えた、たくさんのアイデアが盛り込まれました。

津田山防災エリア

津田山の上の高さ 40mの広場。避難所、防災倉庫、ヘリポート、津田城などがある公園

桜ロード

ロードの両側に桜並木のある津田山山頂への避難路。

総合病院

災害時にも活躍する総合病院

スクールゾーン

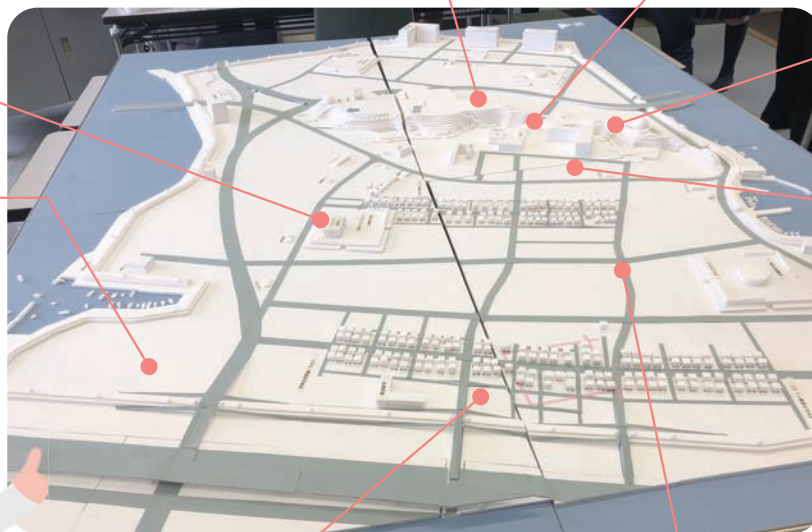
いまの小中学校を活かして防災活動や避難に利用

タヌ防広場

高さ 8m の避難用広場
(公園、グラウンド、コミセン等を併設)

ふるさとの丘

地区全体を囲む 8m の防波堤防
(上部は景観と堤防補強のための桜の並木)



ピロティ住宅のエリア

低地対応のピロティ型の住宅が集まるエリア

E ロード

安全で広い避難路はEの字の形から命名

防災シンボルキャラクター
「タヌ防」



アイデアが満載で、安全で住みやすい街になりそう！

防災アイデア！

避難路を散歩コースにして「いざ」に備える

津田・新浜地区 中学生と一緒に取り組もう！

一地区防災活動 & 津田中学校防災学習倶楽部 【模型の製作・看板設置】一



プロティ型住宅

「防災地区計画ジオラマ」の一画に、メンバーが各自考えた「津波に強い住宅模型」(プロティ型)を製作して配置しました。

街区の設定

- 1 津田地区の典型的な街区を想定
- 2 各敷地には、やや余裕を持たせた
- 3 道路は、車道6m + 両側歩道1.5mと4mの二種類
- 4 メインの道路には、街路樹、LED外灯を配置
- 5 道路と敷地との境界は、ブロック塀、フェンス、植栽による印象の違いを表現



想定浸水予想の表示

中学校体育館に、倶楽部と協議会による「想定浸水予想」を表示しました。内容としては、浸水3mライン、地震は大きく長い時間ゆれること、車を使っての避難をしないことが記されました。



一人一人一つの行動が安全で安心な街をつくるよね!



防災アイデア!

イベントと一緒に防災の啓発すれば一石二鳥

和田島地区 みんなで「防災まちづくり宣言」をつくろう！



活動の方針

徳島大学の上月教授が、地区内でこれまでに行ってきたブロック塀調査を継続させ、地区の実態を明らかにした上で、これからのまちづくりの方針を「防災まちづくり宣言」として共有したい。また、できれば実証実験として「危険なブロック塀の改修モデル事例」を作り、住民の方々への啓発を図りたい。

協議会メンバーの感想・コメント



小松島春日自主防災会
末岐仁人さん

今回、地域住民の方の協力を得て一定の成果があがったと思う。今後、防災意識を高めて、安全で住みよい街をつくっていききたい。



小松島ニュータウン自主防災会
伊藤三男さん

ワークショップなどを通じていろいろ知恵を貸してもらい有り難かった。自然災害への安全対策をして住みよい街にしていきたい。



和田島みさき自主防災会
中川茂明さん

前々から危ないと思っていたブロック塀が確信にかわった。特に細い道の両側にあるものは、これから徐々になくなっていきたい。

取組の内容

ブロック塀調査

地元住民とともに、地区内のブロック塀の点検調査を行い、結果を所有者の方へ伝えました。

先進地視察と報告会

ブロック塀対策の先進地である宮城県、仙台市、国分寺市高木町を視察し、今後の活動に活かすことを検討しました(3地区合同)。

地区防災まちづくりワークショップ

地元住民の方の参加により、地区の防災上の課題や解決策、これからの防災まちづくり方針について意見を出し合いました。

防災まちづくり宣言

今後取り組むべき方向性として「防災まちづくり宣言」を制定し、地区内に掲げて啓発を行いました。

上月教授の啓発授業

和田島小学校で、徳島大学上月教授による啓発授業があり、避難やブロック塀の危険性についての説明がありました。

ブロック塀の改修モデル

実際に危険なブロック塀の撤去・改修をモデル的にを行い、地域への普及啓発を図りました。

和田島地区 みんなで「防災まちづくり宣言」をつくろう！



まちづくり活動の歴史と実績がある高木町は、防災の面でも先進地のとても参考になりました！


一地区防災活動【ブロック塀の調査・視察・啓発】一

ブロック塀調査

調査の方法

ブロック塀の調査は、まず所有者の方に事前周知を行い、チラシで点検の目的や内容を伝えてから実施しました。調査に関しては、建築士の方々の協力を得て、チェックシートを作成。調査結果は、書類でお渡しするとともに、今後の対策についてのお願いもしました。





ブロック塀の点検 ご協力をお願い

和田島防災まちづくり協議会

このたび、安全安心な避難経路の確保を図るため、避難路沿いのブロック塀等の安全点検を行い、点検結果を踏まえた対策やまちづくりを検討することを目的として「和田島防災まちづくり協議会」を設置いたしました。

協議会では、9～10月の間、避難路沿いのブロック塀について、点検のため訪問させていただく予定にしております。

ご不在の場合は、敷地の外側から点検をさせていただき、結果については個別お知らせいたします。

ご協力ご理解のほど、
よろしく願っています。

点検について

南海トラフ巨大地震では震度7による激しい揺れや液状化、地盤変化等が考えられ、ブロック塀の倒壊の恐れもあります。そのためブロック塀の安全性を点検して災害に備える必要があります。

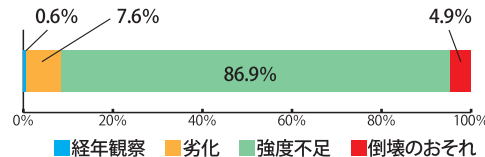
今回、敷地の外側から専門家による調査を行い、点検結果については個別にお知らせいたします。

協議会について

<構成員>
 小松島町自主防災会、小松島ニュータウン自主防災会、和田島みさき自主防災会
 東自治会、突前寄会、中央自治会、勢以自治会、みさき自治会、日ノ出自治会、徳宅自治会、小松島ニュータウン自治会
 一般社団法人小松島地域まちづくり
 徳島大学理工学部社会基盤デザインコース 上月研究室
 公益社団法人徳島建築士会
 小松島町危機管理課、住宅課
 徳島県土木整備部住宅課建築指導室

問合せ先：徳島県建築指導室 088-621-2613

調査の結果



先進地視察と報告会

防災まちづくりの先進地である、東京都国分寺市の高木町に視察に行ってきました。後日、3地区の協議会の皆さんに集まっていたが、同行された徳島大学の上月教授による報告会が開催されました。



高木町まちづくり宣言

1. 農地・農業や自然の営みと住民生活が共生できるまちづくりをめざします。
2. 安全で美しいまちづくりを心がけます。
3. 誰でも安心して歩ける道づくりや憩える公園づくりをめざします。
4. 近隣の日照や町並みなどに配慮した建物づくりをめざします。
5. 駐車・ゴミ置場・騒音などに配慮し、生活環境ルールをまもります。
6. 近隣とのコミュニケーションを一層心がけます。
7. 住民同士が協力すると共に、行政や専門家と連携してまちづくりを進めます。
8. まちづくりに取り組む姿勢とみんなで育んだ環境を次代に引き継ぎます。

高木町自治会

防災アイデア！

子どもと大人とお年寄りが共に学べばより効果的

和田島地区 みんなで「防災まちづくり宣言」をつくらう！

一地区防災活動【ワークショップ】一

地区防災まちづくりワークショップ

概要

和田島地区（ニュータウン・春日・みさき）の住民の方々による地区の防災対策の検討が行われました。プログラムの前半では「防災普及員（仮）養成講座」として、徳島大学上月教授からレクチャーを受け、後半は「ワークショップ」形式で参加者が意見を出し合いました。



和田島防災まちづくり協議会
地区防災計画づくりワークショップ

■日時 第1回：令和元年11月19日（火）18：00～20：00
第2回：令和元年12月11日（水）18：00～20：00
第3回：令和2年1月14日（火）18：00～20：00

■会場 和田島会館

■内容 1. 防災普及員（仮）養成講座
老朽化したブロック塀の危険性について、その他防災に関する講義
2. ワークショップ
地域に必要な防災計画・防災対策について

ブロック塀の点検

和田島町内の避難路沿いのブロック塀について、H30、H31に点検調査しました。

防災普及員（仮）

防災に関する知識を身につけていただき、今後の防災まちづくりを牽引していただく防災普及員（仮）を養成します。

布庫ブロック塀

劣化したり強度が不足したりしているブロック塀は、地震時に倒壊して避難路を塞いでしまうおそれがあります。

地区防災計画ワークショップ

ブロック塀対策、避難経路確保を中心とした防災まちづくりに関する課題や対策を話し合います。

【和田島防災まちづくり協議会】
小松島町民会連合会、小松島ニュータウン自主防災会、和田島みさき自主防災会、東島自治会、宮前町自治会、中島自治会、和田島自治会、みさき自治会、日本赤十字社、防災普及員、小松島ニュータウン自治会、一般社団法人C&S阿波地域再生まちづくり、徳島大学理学院社会福祉学専攻デザインコース、上月研究室、社会福祉法人徳島県福祉士会、小松島市危機管理課、防災課、徳島県防災整備部防災課

日程・参加者

	NT地区	春日地区	みさき地区
11月19日	10	11	11
12月11日	8	8	8
1月14日	8	10	8

第1回 プログラム

- 防災普及員（仮）養成講座
 - ・老朽化したブロック塀の危険性等について
- ワークショップ（全体方針を考える）
 - ・地区の個性や特長を確認する
 - ・地区の防災上の課題を確認する

結果

地域特性の分類	防災課題の分類
地形・自然	ソフト面
人	ハード面
つながり	
産業・文化	
施設	

みんなで意見を出し合うのは、とても勉強になるし楽しいよね！



防災アイデア！

訓練の回数や人を増やして「まさか」に備える

和田島地区 みんなで「防災まちづくり宣言」をつくらう！

一地区防災活動【ワークショップ】一

第2回 プログラム

- 防災普及員(仮)養成講座
 - ・国分寺市高木町の取り組みについて
- ワークショップ(個別方針を考える)
 - ・地区の防災課題を解決するアイデア
 - ・地区の特長を防災計画に生かすアイデア



結果

課題解決のアイデア	特色活用のアイデア
ブロック塀対策	漁業漁港を利用
空き家対策	イベントを利用
避難所経路対策	交流環境を利用
防災意識の改革	



第3回 プログラム

- ワークショップ(実施ルールを考える)
 - ・地区の防災まちづくり宣言を決めよう
 - ・宣言を守るために今後していくことを考えよう
 - ・防災普及員の役割を考えよう



結果

防災普及員の人選・認定	防災普及員の役割
宣言に関わった人に認定証を発行	宣言を知らしめていく
消防団・婦人部・WSの参加者・班長	啓蒙活動
まずは地域の長にしてもらうのがよい	新しい避難所設置の働きかけ
小学生にしてもらう(地域への声掛けなど)	和田島の魅力を子供へ伝える
学校の先生に授業を兼ねてやってもらう	ゲーム感覚の防災教育・イベントを考え行う
宣言ごとに配置する	地域の良さを地域に伝える

和田島地区 みんなで「防災まちづくり宣言」をつくろう！

一地区防災活動【防災まちづくり宣言】一

防災まちづくり宣言

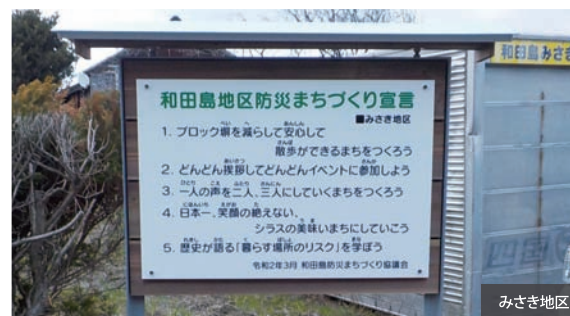
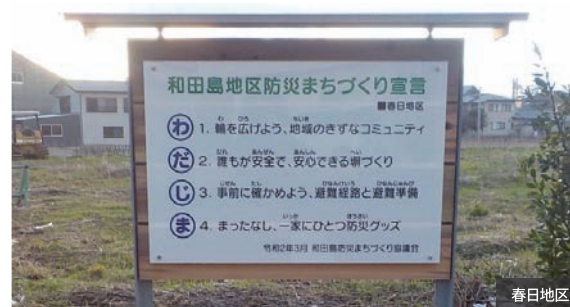
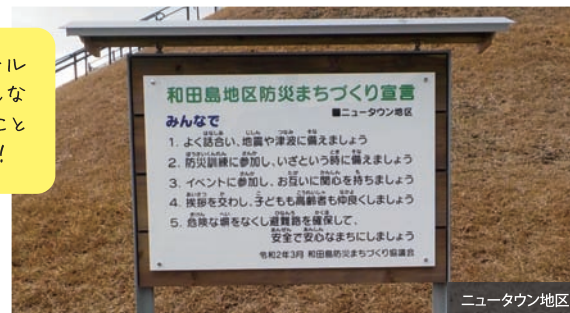
各地区の皆さんがそれぞれ「まちづくり宣言」を決定。

この宣言文はこの後、和田島小学校で発表の上、各地区3箇所に看板設置されました。



みんなでルール
を作って、みんな
で守っていくこと
が大切じゃよ！

地区	防災まちづくり宣言
ニュータウン	1. みんなでよく話し合い、地震や津波に備えましょう
	2. みんなで防災訓練に参加し、いざという時に備えましょう
	3. みんなでイベントに参加し、お互いに関心を持ちましょう
	4. みんなであいさつを交わし、子どもも高齢者も仲良くしましょう
	5. みんなで危険な塀をなくし避難路確保して、安全で安心なまちにしましょう
春日	1. (わ) 輪をひろげよう、地域のきずなコミュニティ
	2. (だ) 誰もが安全で、安心できる塀づくり
	3. (じ) 事前に確かめよう、避難経路と避難準備
	4. (ま) まったなし、一家にひとつ防災グッズ
みさき	1. ブロック塀を減らして安心して散歩ができるまちをつくろう
	2. どんどん挨拶してどんどんイベントに参加しよう
	3. 一人の声を二人、三人にしていくまちをつくろう
	4. 日本一、笑顔の絶えない、シラスの美味いまちにしていこう
	5. 歴史が語る「暮らす場所のリスク」を学ぼう



和田島地区 みんなで「防災まちづくり宣言」をつくろう！

一地区防災活動 & 徳島大学 & 建築士会 【啓発活動・改修モデル】一

上月教授の啓発授業

和田島小学校で行われた、徳島大学上月教授の防災の授業。避難場所を家族と決めておくこと、古いブロック塀は危ない、などの説明がありました。また、ブロックの重さを、実際に生徒が体験しました。



ブロック塀の改修モデル

ブロック塀改修モデル

ここは、古い危険なブロック塀を安全なフェンスに改修しました。地震発生時にブロック塀が道路に倒れると、歩行者にとって大変危険です。また、道路を塞いでしまうので、多くの人が安全に避難できなくなります。危険なブロック塀の安全対策について、皆様のご協力をお願いいたします。



和田島防災まちづくり協議会 令和2年3月

地区の中心部にあった古いブロック塀を、所有者の方の了解のもと、モデル的に改修しました。道幅も広くなり、防災的にも道路の通行上も安全になり、美観としてもとても良くなりました。



日和佐地区 新しい防災イベントを考えよう！



活動の方針

神戸学院大学・中田教授と取り組んでいる「防災マップ作り」に危険ブロック塀要素も取り入れたい。また、地元中学生も加わり、徳島大学、建築士会の協力も得て防災学習を充実させたい。なおその成果は、新しい「防災イベント」として、多くの人たち、様々な世代の人に披露し、地元住民の防災意識を高めたい。

協議会メンバーの感想・コメント



日和佐まちなか防災会
旭 英男さん

大阪の事例で、住民の皆さんもブロック塀については興味を持たれていたようです。また、早々に二軒の方が改修していただくことになりました。今回の成果であったと思います。



徳島大学・上月研究室
小山翔太郎さん

3地区とも関わらせていただきましたが、この事業が契機となって、徳島そして全国のブロック塀対策が進み、住民主体の防災活動に発展していってくれるといいと思います。



神戸学院大学・中田研究室
片山大祐さん

今回のハザードマップを平時から活用していただき、災害時にご自分の家から安全に避難できるようにしてください。自分たちの調査が少しでもお役に立てれば嬉しいです。

取組の内容

ブロック塀調査

地元住民、中学生とともに、地区内の避難路沿いのブロック塀の点検調査を行い、結果を所有者の方に伝えました。

防災授業

地元中学生が、ブロック塀の危険性について学び、実際に現場で調査をしました。また、一般の方を対象にした防災フィールドセミナーも開催されました。

避難路防災マップ作成

避難に関する情報や老朽化したブロック塀などの危険箇所を掲載したマップを作りました。

美波町「津波避難路ウォーキング」in 日和佐

恒例になっているウォーキングイベントに、防災体験などのプログラムを加え、避難路、避難場所の確認とともに、災害時対応の啓発も図りました。

日和佐防災マーケット

危険ブロック塀への安全対策や防災活動の普及啓発のためのイベントを、これまでになかったような要素も取り入れて開催しました。

防災アイデア！

防災弱者も近所の人たちがいれば助けられる

日和佐地区 新しい防災イベントを考えよう！

—地区防災活動 & 神戸学院大学 & 徳島大学【防災授業】—

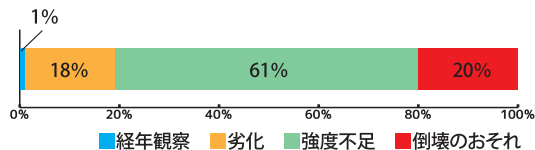
ブロック塀調査

調査の方法


ブロック塀の調査は、まず所有者の方に事前周知を行い、チラシで点検の目的や内容を伝えてから実施しました。調査に関しては、建築士の方々の協力を得て、チェックシートを作成。調査結果は、書類でお渡しするとともに、今後の対策についてのお願ひもしました。



調査の結果



避難路沿い
ブロック塀の点検結果
についてのお知らせ



日和佐防災まちづくり協議会


このたびは、避難路沿いのブロック塀の点検にご協力いただきありがとうございます。
点検の結果は「ブロック塀の点検表」とおりましたので、ご確認ください。

点検結果について ブロック塀の強度について、「点検表」の評価項目に○がついた点に問題が見受けられました。
南海トラフ巨大地震では震度7による激しい揺れや液状化、地盤変化等が考えられますので、ブロック塀の倒壊にくれぐれもご注意ください。

補助事業について 美波町では、道路に面した危険性の高いブロック塀を撤去する費用の一部を補助しています。
詳しくは、美波町消防防災課までお問い合わせください。

協議会について 安全安心な避難経路の確保を図るため、日和佐まちなかのブロック塀等の安全点検を行うとともに、点検結果を踏まえた安全な避難経路を検討することを目的として設置されました。

<構成員>
日和佐まちなか防災会（東町自主防災会、浜町自主防災会、中村町自主防災会、本町自主防災会、奥河町自主防災会、西町自主防災会）
神戸学院大学現代社会学部社会防災学科 中田研究室
徳島大学工学部社会基盤デザインコース 上月研究室
徳島大学美波町地域づくりセンター
公益社団法人徳島県建築士会
美波町消防防災課
徳島県土木整備部住宅課建築指導室



日和佐中学の生徒も一緒に調査に合わせたよ！



防災授業

防災フィールドセミナー in 徳島

神戸学院大学主催の「防災フィールドセミナー」が開催されました。当日のメニューとしては、煙中体験、搬送法、三角巾、ジャッキ体験、胸骨圧迫、ロープ結索など。災害時に起こるいろいろなことに対応するための体験セミナーでした。

日和佐中学校での出前授業

日和佐中学校で、徳島大学上月研究室の出前授業がありました。ブロック塀のことについての講義では、どのようなところが危険箇所かが詳しく説明されて、講義後のブロック塀調査の際に、とても参考になりました。また、地区内にブロック塀が多いことも知りました。



防災アイデア！

防災グッズを備えて一人一人の意識を高める

日和佐地区 新しい防災イベントを考えよう！

一地区防災活動 & 神戸学院大学中田研究室 【避難路防災マップ】一

避難路防災マップの作成

地区の現況調査やワークショップを踏まえて、新しい避難防災マップが作られました。



ルート3 北向き地蔵→美波町役場



ルート3 北向き地蔵→美波町役場

- 徒歩 3分57秒00
- 高齢者キッド 5分16秒65
- 車いす 4分59秒48



日和佐まちなか防災会 危険箇所点検マップ

避難路分類

- 赤→ブロック塀、空き家ともに危険なもの(ピンク、赤)に接しておらず安全な道
- 青→ブロック塀、空き家で危険なもの(ピンク、赤)に接している部分はあるが道が広いため閉塞の恐れなしと判断

防災アイデア!

防災力アップに今ある連絡網を最大限活用

日和佐地区 新しい防災イベントを考えよう！

楽しい防災イベント
という発想も大切だ
よね！



一地区防災活動 & 徳島県建築士会 & 徳島大学 【防災イベント】一

日和佐防災マーケット

イベント概要

「津波避難路ウォーキング」に合わせて開催された防災イベント。いろいろなメニューを盛り込むことによって、敬遠されがちな防災イベントに多くの人と世代層を呼ぼうという企画でした。当日は日和佐在住の外国人の方々の参加もあって、来場者も予想以上にたくさんありました。



防災学習

防災に関する様々なパネル展示とセミナーが開催されました。上月教授の講義では、特に古いブロック塀の危険性や、そこから考えていく「まちづくり」についての説明がありました。



防災スリッパ・ワークショップ

災害時に新聞紙を使って簡単につくることのできる「防災スリッパ」ワークショップが開催されました。建築士から作り方の指導を受けた後、各自がデコってオリジナル版を作りました。

防災スリッパ



きちんと学ぼう防災のこと
この学びがあなたの命を
守ります。

令和二年
2/23日
10:00~16:00

日和佐防災マーケット

会場 美波町日和佐公民館 3F

今、知っておくべき**防災学習**
みんなで参加しよう**ブロック塀クイズ**
最新! 防災マップを展示

耐震相談 無料 **コーナー**
建築士会による**ワークショップ**
新聞紙で**防災スリッパ**を作ろう
●受付:日和佐公民館3F ●参加無料

雑貨販売 徳島で人気のハンドメイド作家さんによる
かわいい雑貨を販売します。

誰でも参加できる**プチウォーキング**
ブロック塀改修のモデルを見学に行こう
●受付:日和佐公民館3F ●参加無料

主催/日和佐防災まちづくり協議会
事務局:徳島県建築指導室 ☎088-621-2613
後援/(公社)徳島県建築士会、interior shop precious

アンケートに
お答えいただいた方に
粗品プレゼント

防災アイデア!

大切なのは常日頃の心構えと行動の積み重ね

日和佐地区 新しい防災イベントを考えよう！

一地区防災活動 & 徳島県建築士会 【防災イベント】一

耐震相談コーナー

建築士による耐震無料相談会。地震で家が壊れてしまつては避難もできないので、耐震改修も大切。



防災イベントの参加者を増やす工夫も、いろいろあるよね！



雑貨販売コーナー

若い女性に人気のハンドメイドの雑貨販売コーナー。防災イベント参加の新しい層の掘り起こしをねらって行われました。



ブロック塀改修モデル説明

ブロック塀を改修した事例を紹介。

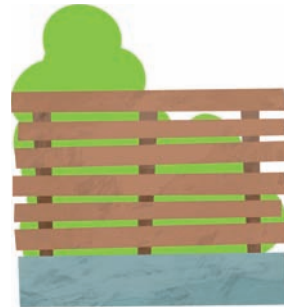
地元の「みせづくり」をモチーフに、ベンチや掲示板を組み込んだ塀が提案されました。



ブロック塀を安全で美しく！（改修例）

古い危険なブロック塀を、安全で美しい塀にする方法はたくさんあります。

- 高さを低くして倒れにくくする
- 木板やフェンスなどの軽い素材を使う
- 耐震性のある鉄筋コンクリート造にする
- 花壇や生け垣にして緑を楽しむ など



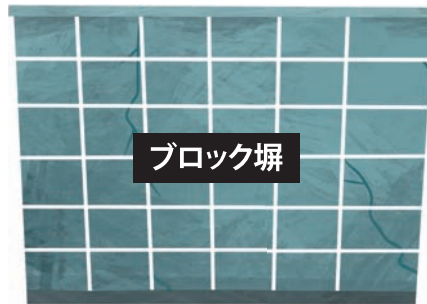
和風板塀



生け垣



腰壁とフェンス



ブロック塀



組込フェンス



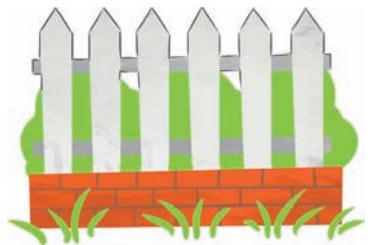
デザイン壁



壁外に植込



塀と花壇



洋風板塀

あなたのお家の
古いブロック塀を、
安全で、美しい塀に
変身させよう！



もっと「防災活動」のススメ！

ここでご紹介をした3つの地区の活動をみると、地元で「防災活動」をうまく進めていくための共通のポイントがあるように思います。これは、皆さんのところでもご参考になるのではないのでしょうか。

いろんなアプローチで、新しい防災まちづくり活動を始めましょう！

国分寺市
高木町のような
取り組みができる
素晴らしい！



地元のキーパーソン
を見つける

その人と活動内容をよく
知ることが大切です



人と人のつながりを
つたってみる

人と人はどこかでつながる
共通点があります



普段関わらない人
と関わってみる

専門家や研究者なども
案外近くにいます



先進地や事例を
学んでみる

良いお手本からは刺激と
エネルギーをもらえます



行政と一緒に
取り組む

要望ではなく相談をして
アイデアを一緒に形に



みんなで考えると
知恵がわく

たくさんの人の話を聞くことで
新しいアイデアが出ます



視野をもっと
広げてみる

年齢や仕事や立場が違っても
思いは同じことも多いもの



楽しく取り組む

とにかく楽しくなければ
仲間も増えず続きません



資金集めの方法
も考える

補助金や助成金や
基金などをうまく活用

～付録～ ブロック塀を点検してみよう！

ぐらつきやひび割れがないかな？ **倒れる危険性大！**

高さが高すぎないかな？ **高さは 2.2m まで！**

控え壁があるかな？ **高さが 1.2m を超えると必要！**

笠木があるかな？ **ないと中に雨が入ってしまう！**

鉄筋が入っているのかな？ **分からないときは専門家に聞いてみよう！**

お家のブロック塀の
点検をおすすめします！



令和 2 年 3 月 徳島県

地域の安全確保モデル事業

制作：公益社団法人 徳島県建築士会

デザイン：合同会社 STUDIO SOL

監修：徳島県県土整備部住宅課建築指導室



令和2年3月
徳島県 地域の安全確保モデル事業